

園長あいさつ Welcome Message

園長 小松 守

今年の干支は酉、動物に鳥を当てはめています。私たちが持つ一般的な鳥のイメージは、空を飛び自由に移動するものでしょう。それは今も昔も変わらないと思います。鳥が自由に大空を行き交う姿にやがて人類は飛行機を発明し、それは現代のスピード化、グローバル化にまでつながってきたとも言えます。

鳥は動物園での展示動物の核的存在で多様な生き方をお伝えるためにも欠かせません。同時に鳥は生態学的に重要な地位にある仲間も多く、種保存や生息域外保全の対象種として大切なものもいます。

秋田の動物園ではイヌワシ飼育の継続による繁殖と種保存、そして野生へも目を向けています。もう一つ、最近の個人的な鳥へのイメージは、鳥インフルエンザに直結する存在です。あくまでも個人的なものです。40数年秋田の動物園でお世話になっていますが、これほど苦悩した経験はありませんでした。目に見えないウイルスとの戦いは、感染拡大を抑えること、動物園の鳥を守ることで、様々な課題を瞬時に解決しなければならず、二度と経験したくないものです。

鳥が悪いのではなく、鳥インフルエンザウイルスも生き残り戦略として、渡りをする鳥に取り付けて拡散したかったのでしょう。地球史の中、絶滅に向かう恐竜の仲間の一つが、「飛ぶ」という特殊能力を身に付け進化したものが鳥です。食べるため最も大切な歯さえ捨て去り、軽量化を図った鳥は強かな動物です。それを利用するウイルスはさらにその上をいきます…。今シーズンはその鳥に様々な点で注目してみたいものです。



シロフクロウのハクといっしょに

今回の「こんにちは!あかちゃん」では、8月以降に大森山動物園で生まれた赤ちゃんを紹介します。



コモンマーモセット

10月7日にコモンマーモセットの3つ子が生まれました。残念ながら、1頭は数日で亡くなりましたが、2頭は元気に育っています。

訃報 忘れないよ…



ピューマ

ピュータ/オス(年齢不明)
2016年12月10日死亡

2011年10月18日に名古屋市東山動物園から来ました。詳しい年齢は不明ですが、20歳近いと思われます。12月に入ってから動きが悪くなり、後肢に力が入らなくなりました。腎不全と糖尿病で亡くなりました。



アメリカビーバー

マリオ/オス(11歳)
2016年11月7日死亡
マリオは2007年3月8日に1歳で新潟市水族館マリンピア日本海からやって来ました。元気なメスのクロとチャチャに圧倒されることもありましたが、仲良く暮らしていました。

あかちゃん

こんにちは!



カンガルー

8月20日2頭、12月17日に1頭がお母さんの袋から顔を出しました。現在、アカカンガルーは16頭の大所帯になりました。カンガルーアイランドまで見に来てください。



カピバラ

10月18日にぐりが2頭、10月27日にぐらが4頭の赤ちゃんを生みました。

ぐりとぐら、初めてのお産でしたが、上手に育てています。生まれてから1週間も経たないうちに赤ちゃんは少しずつ大人と同じ餌を口にしました。



ツキノワグマ

稔/オス(推定16歳)
2016年12月18日死亡

稔は2001年、子グマの時に高速道路で車にはねられたため保護しました。それからは元気になり、2頭のメスとの間に3頭の子供をもうけました。また、クマの冬ごもり時の深部体温を調べる試みにも協力してもらいました。

この他にもマーコールやノジロオマキザル、アカコンゴウインコ、ファンボルトペンギン、ハクビシンなどが亡くなりました。

カピバラ

サツキ/メス(7歳)
2017年1月3日死亡

サツキは長崎バイオパークから2009年12月4日にお姉さんのマツと一緒にやってきました。1月3日コムギとの間にできた赤ちゃんが難産となり、帝王切開を試みましたが、残念ながら母子ともに助けることができませんでした。



げんきで! 大森山を後にした動物 コモンマーモセット

10月24日、空と千歳が群馬サファリパークに旅立ちました。大森山の大家族を忘れないでね。

飼育動物数

2016年12月末現在

哺乳類	52種	369点
鳥類	26種	148点
爬虫類	12種	31点
両生類	2種	3点
魚類	3種	41点
無脊椎	1種	23点
合計	96種	615点